

## 基調講演

# 学習意欲向上による途中退学の防止に向けて ＝ToMoを活用した学生支援＝

大学、専門学校に進学したものの、目的意識を見い出せずにやる気が減少したり、他の学生とのコミュニケーションをうまく図ることができずに孤立するなどの結果として、退学する学生が少なくありません。

このような問題に対して、どのような施策を講じることが有効なのでしょうか。この度の実践行動学セミナーは、近年注目されているトータルモチベーション（ToMoトモ）という概念をヒントに、学習意欲向上による退学防止の具体的な実践方法を明らかにしていきます。

## 講演概要

書籍「マッキンゼー流 最高の社風のつくり方」で紹介され、広く知られることになったToMoという概念。（総合的動機の数値化により組織改善を図る考え。）近年の研究では、ToMoと学生の途中退学に相関関係があることが分かってきました。

このToMoの概念や測定方法を理解するとともに、ToMo指数を向上させるための学生支援（退学防止など）の方策を考えていきます。

### <プログラム>

1. 意欲の見える化「ToMo」とはなにか
2. 自分自身のToMoの測定
3. ToMoを向上させる取り組み事例の共有
4. 実践方法の体験「ライフミッションシート」の活用

## 栗林裕也先生のプロフィール概要

公益財団法人 日本生産性本部 人材開発コンサルタント  
国家資格キャリアコンサルタント、白百合女子大学非常勤講師

早稲田大学政治経済学部卒業後、民間会社を経て現職。キャリア分野の研究や企業内でのコンサルティング、能力開発の研修に従事。

生きがいと働きがいを感じつつ、その人らしさの発揮が強みとなって現れ、目的を達成することができるよう、「人」と「組織」の支援を行っている。

<実績> 厚生労働省認定「キャリアコンサルタント養成講座」講師

企業/教育機関内コンサルティング・研修（経済産業省、ANA、東京センチュリーなど多数）